

第1回ハウス会議&講演会のご報告

6月23日(月)午後6時半より、第1回ハウス会議が行われました。ハウスでやっている活動の紹介や、ふるさとまつりの出店お手伝いのお願いなどをしました。続いて第二部の講演会では、(株)石塚計画デザイン事務所 東京事務所の千葉晋也さんを講師にお招きして世田谷のまちづくりについてのお話を伺いました。当日は会員28名、非会員14名で計42名の参加がありました。



講演の概要「がんばるマチヅクラ：世田谷の場合」



講演会の詳しい内容は

<http://www.community-design.jp/shiroishi/kouenkai03/0623/>
をご覧ください

- ◆『マチヅクラ』とは、勝手に作った言葉だけど、ここでは専門家でも行政マンでもなく、思い立って始めたことが「まちづくり」につながっていた人たちをそう呼びます。その人たちの舞台はつねに「地域」なのです。ということで、世田谷の面白い事例を紹介しました。
- ◆風景づくりのマチヅクラ：身近な風景を自分の手でよくしたい
- ◆風景づくりは、身近にあるイイなと思う風景に、自分ができることをやってよくしていこうという活動です。「こんな私が活動なんてできるの?」という女性が、小さな小径を通してコミュニティリーダーになった事例や、ダメな風景だからこそ、逆転のパワーに転換した事例、大きな木の持ち主さんに感謝状を贈る「ラブレター作戦」や、個人のパワーで都立公園を花畑にした事例など、個人の想いが地域を動かすことができることを紹介しました。
- ◆民間の視点でマチヅクラが地域を変える
- ◆市民活動団体やNPOなど市民が提供する公共的・公益的な活動や企業だからできる活動。これも結局小さな想いやキッカケから、活動が大きくなって地域を支える活動に成長していくものです。例えば、自分たちがやらねば!という思いから20年、独自の福祉サービスを提供続けている「たつなみ会」。積極的にみどりを残した開発を提案する「エコロジー住宅専門学校/チームネット」そして、地域のまちづくりの核として、街で専門家ができることをと生まれた「玉川まちづくりハウ

- ス」などいろいろなケースがあります。
- ◆子育てこそまちづくりのスタートライン
- ◆最後にまちや地域に関わるキッカケを、子育てをテーマにインターネットを活用した入り口づくりを工夫した「ママパパぶりっじ」の事例も紹介しました。
- ◆まとめ：マチヅクラ5原則
- 1) 自分の関心を行動に移そう
- ・できること、やりたいこと、気になることが活動の出発点
- ・難しいミッション(目的)より、最初の動機が大切
- 2) 自分の住む地域(フィールド)を見つめ、地域に根ざした活動しよう
- ・近所なのか、街単位なのか、世界をネットワークするのはあなた次第
- 3) 独自のウリをのぼそう
- ・行政でも企業でもない、市民だからできることがマチヅクラ(あなた)のウリ
- 4) ネットワークで、マチヅクラからまちづくりへ!
- ・同じ目的や地域の仲間、違う分野や他地域の仲間とつながって、個人の思いから大きな活動につなげていこう
- 5) 肩に力を入れすぎず、続けられる活動を
- ・活動が負担にならないよう、身の丈にあった長続きする自分のやり方を見つけよう

ふるさと祭出店のご報告



ハウスでは、7月19日、20日に北都公園で行われたふるさと祭に、焼きそば、いもち、かき氷を出店しました。会員の皆さんにご協力をお願いしたところ、延べ70名の方がお手伝いに来てくださいました。当日は、風が強く、朝から晩までたちっぱなしで大変だったと思いますが、 Tent内はワイワイ・ガヤガヤとにぎやかで楽しい雰囲気でした。

お祭は大盛況で、焼きそば 448,050 円、いもち 129,000 円、かき氷 59,300 円、合計 636,350 円と予想を上回る売上がありました。この売上は、ハウスの運営に大切にさせていただきます。皆さん、ご協力本当に有り難うございました。

8月9、10日にはふれあい盆踊りに白石焼き(白石鍋、白石シフォンケーキに続く第3弾!!)が初登場の予定です。ぜひ、お立ち寄りください。